

聖女
の
たしなみ



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

私の胸の
ドキドキに
ついて

王子の部屋を
尋ねたあの日…

その日が

私の運命を
変える日に
なるなんて

思っても
ませんでした



だケツマン
な

ガすっ
バガバ
りな



しっ
めろ
かり
より

オラ!



あ
あ
あ
っ
っ
っ
!!
だ
め
っ
っ
!!
お
尻
で
ま
た
ま
し
ゅ
う
う
ま
♥

王
子
の
お
ち
ん
ぽ
う
い
い
で
す
う
!



何
...
?!

次の日...

案の定王子に
呼び出されたに
しまいました

イリス?

昨日は
用事があった

執務室を
尋ねて来た
んだらうか?

えっと...

昨日と
違う人...

執務室を

覗いたん
だらうか?



謝らなくて
いいんだ…

すみません…

王子は
知ってるかも…



見てて
どうだった？



その…
ドキドキが
違うんです…

何か…
下半身が
ムズムズして…

きっとこの
体の変化も…



じゃあ

ちよつと
みてみようか

スリスリ





アリサ



これは凄いやんねの
イリスちよは
おまんこは
重症だよ

あゝ
ガクガク

何これッ...?!



あゝ

あゝ



イリスを
治療して
あげなさい

はあい♡



ゆらゆら

カクッ



ムラムラ

頭の中が
痺れて…

真っ白に
なる…!!

ア
リ
子
だ

嬉しい…♥

ご褒美に
中にたくさん
出してあげるよ

久しぶりの王子
ちんぽっ♡

しゅごいつ♡
これしゅきい♡

イリスにも
アリスのまんこに
種付けしてもらおうか
見せてあげようか

はっっ♡

何だろ…
また…


見てえ♡
イリスちゃんっ

私の中に王子の
赤ちやんミルクの
いっぱいだよお♡


熱のある
臭いの中

その日は


そのまま
意識を失って
しまいました




次の日も
治療と証した
ソレは続きました



何度も



何度も



頭のなか
おかしな
なるほど



あの…王子

どうして
私には…

もいもい

その…

アッ
ではないか？



こうこうう…



クス…

何を？



王子は
意地悪
です！

ほっ



こんなに
小さいんだ

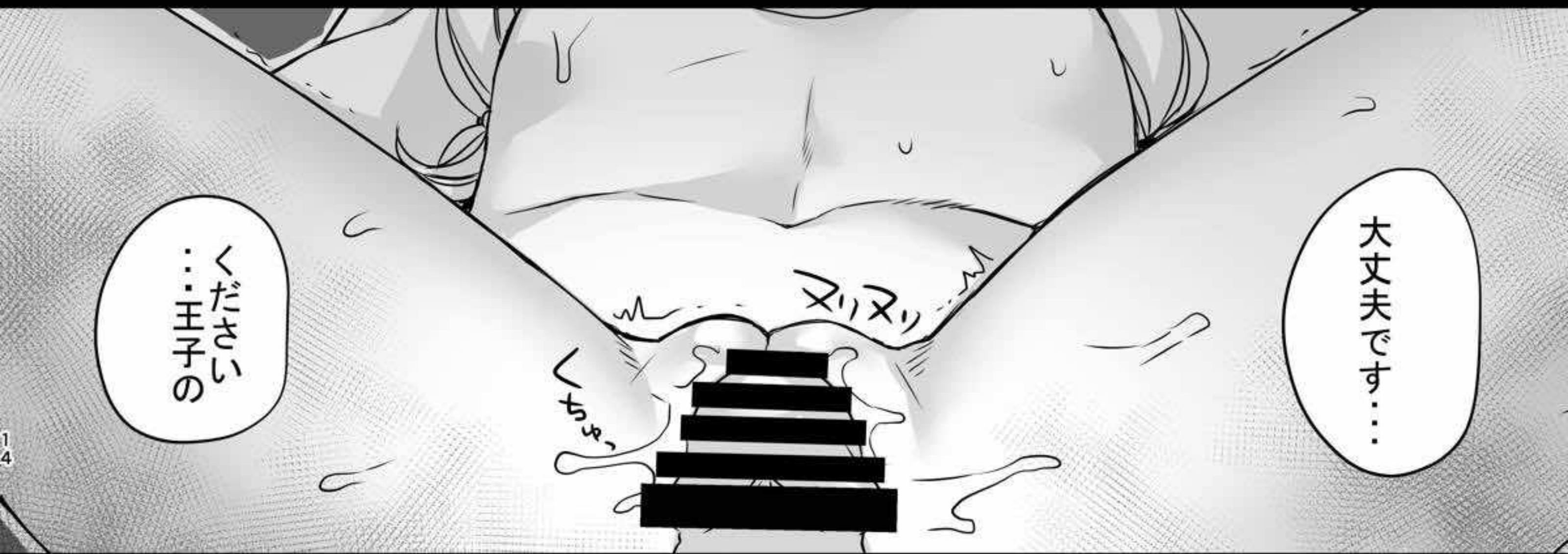
まだ
イリスには
早いだろうか？

でも...



王子と
結ばれたい

私も



大丈夫です...

…ください
…王子の







やっぱりこは
処女まんこは
締りがよくては
最高だね

痛いっ…!?



凄いよ!
イリスのまんこが
俺のちんぽの形に
広がってる!

繋がってる
んだよ!



気持ちいいッ♥



痛いのに…!!



新しい正装は
どうですか？
王子

ああ：
可愛いよ
イリス

ありがとう
ございます
♡

ちゃんと言われたとおりに
淫紋も付けて
来てるね

王子のお願い
ですから♡

じゃあご褒美を
あげないとね

♡...♡

はは

はは



凄く上手に
なったね

イリスは
おしゃぶり
大好きだもんね



淫乱な
聖女様
だなあ

まんこ
ドロドロにして
美味そうにして
しゃぶってんなあ



ケツマンコが
ものほしそうに
ヒクヒクしてるよ?

あうう...
王子い...







それでも
止められない

こんな事に
幸せにな

止められない
はずがない……



王子のご命令なら
どんな事でも
受け入れます♥



あゝ

お願い？

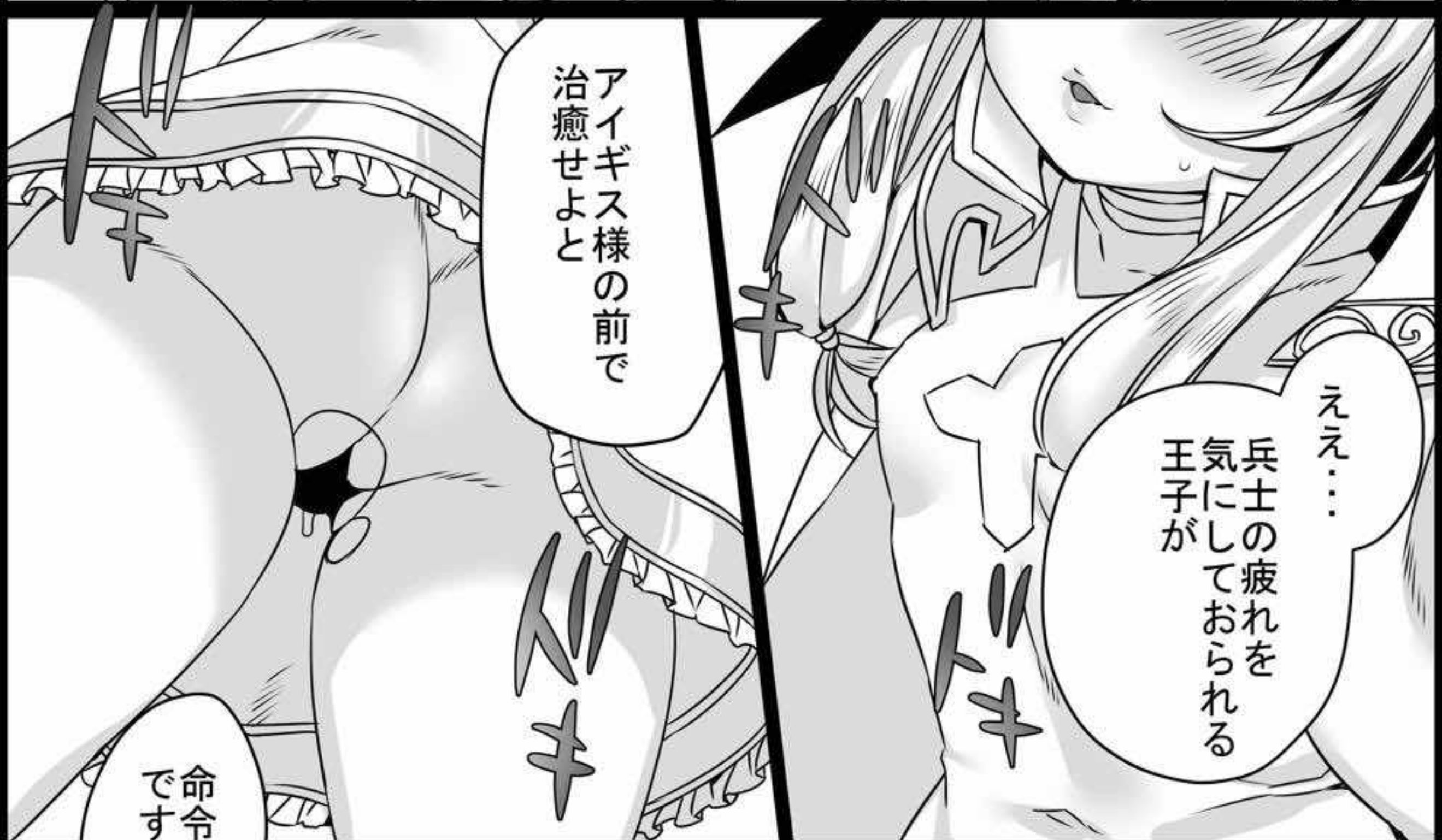
私に命令
してください……♥



このような場所に
呼び出して
すみません…

いやあ…

かまわねえけどよお
聖女様が俺達
兵士に何の用が？



アイギス様の前で
治癒せよと

ええ…
兵士の疲れを
気にしておられる
王子が

命令
ですので…



ほ

ほ



女神様…

見ていらっ
しやいますか？

みなさんだの
溜め込んだの
ザーメン

イリスの中に
好きなかだけ
注いでください
♥

私は王子の
おかげで

本物の
聖女に
なれました

トオオ...

私が全部

癒して
差し上げます
♥

Fin

『聖女のたしなみ』
DL限定追加ページ

子供のようには華奢な体の聖女様は
穴を使える様にするのには苦労した。
人差し指ですらキュウキュウと
締め付けてくるのに……
一体どれほど広げれば自分のソレを
すべて受け入れられるのだろうか。

「大丈夫です……我慢出来ます……」

聖女イリスはそう言うのと
少し苦しそうな顔で笑った。
そのいかにも聖女様という表情が
この後淫乱な雌の顔に変わっていくのだと、
想像するだけで興奮する。

「じゃあはじめようか。」

痛くないようにと、媚薬を丁寧に
未開発の蕾へと塗りこむ。



はあ

はあ

クク

クク

指を抜き指ししながら少しずつ媚薬を中へと塗りこむ。

「あぁっ……！お尻があ……熱いっ……」

媚薬が効いてきたのか、聖女様の幼い蕾はだんだんと受け入れる指の数を増やして言った。

「やっぱり聖女様は素質があるみたいだ。」

思わず嬉しくなつて、成長中の蕾へと拡張用の専用器具を躊躇なく押し込む。器具の先には玉が大小幾つも連なっていてソレが出たり入ったりすると玉の節々が入り口を何度も刺激する。

「す……いっ！お尻があ……これすきい♥」

器具を激しく出し入れしてやると犬のように舌を出して喜ぶ。



乱暴に、だが傷つけないよう時間をかけて
じっくり中をかき回す。

「あっ……ああっ……！だめっ！何か来るっ！」

ガクガクと腰を震わせ
絶頂を迎えようとするイリスに

「そういうの何て言うのか教えてだろっ？」

一言そう言って、躡けられた犬のように
ピシヤリと尻を叩いてやる。
それすら今のイリスには快感になる。

「イクっ！イクますっ！お尻でアクメしますっ！！」

押し込んでいた器具を一気に引き抜いてやると
急な刺激に体を震わせ、派手に潮を吹いて果てた。

「アナルだけでイクなんて、淫乱な聖女様だな。」

「ああ……めんなひゃい……」



2017/05/08/2版
発行:ねむりねこ/miniru
印刷:オレンジ工房
連絡先:miniru03@hotmail.co.jp

